



「きずな」の窓

例年よりも早い春の訪れで、例年より早く咲いた桜の花が新学期のスタートを応援しているようです。新型コロナウイルス感染症による様々な制限も緩和されつつあります。今年度は、コロナ禍前のように、子どもたちと楽しい学習を行うことができると期待しています。報道等で御存じのように5月8日からは新型コロナウイルス感染症はインフルエンザ感染症と同じ5類の扱いになりますが、現状では新型コロナウイルス感染症の家族内感染も散発している状況です。

本校では始業式・入学式から5月連休までは、感染症対策を継続していくことにしています。

風邪症状がある場合は、登校前に必ず学校への連絡をお願いします。無理せず静養し、体調を整えてから登校するようにしてください。

手洗い、うがい等は様々な感染症から体を守るために大切な習慣ですので、ぜひ継続をお願いします。不安なこと、困ったこと等がありましたら、いつでも学校に御相談ください。

本来なら、みんなが集まって、新任式と始業式を行うところですが、今年度はZoomによるオンラインで新任式・始業式を行いました。小学部76名 中学部44名 高等部53名 計173名の児童生徒の学習がスタートしました。始業式では次のような話をしました。

<新任式・始業式 校長の話>

4月から学校に15名の新しい先生、職員の方々がいらっしゃいました。教職員全員で、元気いっぱい、力をひとつにして がんばります。何か、困ったことが あったら、いつでも先生方に相談してください。

新学期にあたり二つお話をします。

一つめは、「早寝、早起き、朝ごはん」を 続けてください。そうすると、みんな元気に生活できます。楽しい勉強がたくさんできます。

二つめは「あいさつ」です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」。元気なあいさつはとても気持ちが良くなります。がんばりましょう。

今年度は、小学部に9名、中学部に21名、高等部に19名の新しい友達が入学します。みなさん、早くなかよくなってください。



本校への新任職員をお知らせします。子どもたちのより良い成長のため、保護者の皆様と学校が一致団結して取り組んでいければと思います。よろしく願いいたします。

※ 今後も不定期ですが、校長室だより『「きずな」の窓』を通じて、学校の状況や右図のような本校のトリビアなどもお知らせします。

<校章の由来>

校章の周囲の円は、村山盆地を取り巻く山々を表し、結び目は隣接する山形聾学校はじめ地域の学校や人々との連携・協力を表しています。そして、中心の「M」は、村山地域の頭文字のMと児童生徒を中心(Main)にした学校の姿を表しています。